

13年ぶりです！

庄原赤十字病院産科再開後、初めての

赤ちゃんが誕生しました!!

2950グラム 女の子



5月10日、市民が待ち望んだ、庄原赤十字病院産科再開後、初めての赤ちゃんが誕生しました。出産をしたのは、ふじいあさみ藤井亜沙美さん。

5月14日、木山耕三市長は、藤井さんと赤ちゃんを訪問し、誕生を祝福するとともに、記念品を贈りました。

木山 耕三市長から一言

本年4月に、13年ぶりに庄原赤十字病院で産科が再開しました。再開後初めてとなる赤ちゃんのご誕生おめでとうございます。心からお喜び申し上げます。ここに至るには、市と庄原赤十字病院との連携した取り組みはもとより、広島県の周産期医療体制整備に向けた後押しや、三次市、市立三次中央病院からは、昨年、常勤の産婦人科医師の派遣をいただいたこと、さらに本年度から助産師の派遣をいただくなどのご協力があったことであり、各方面からいただいた多大なご支援に感謝申し上げます。

引き続き、関係機関と連携し、若者の定住につながるよう子育て環境の充実に努めていきたいと考えています。

ご出産おめでとうございます

ふじいあさみ藤井亜沙美さん（西城町）

庄原赤十字病院で産科が再開し、最初となる出産ができたことを、うれしく思います。

妊娠してからは、妊婦健診を市外の医療機関で受けていて、出産も市外の医療機関で…と考えていましたが、「庄原赤十字病院でも出産できるようになった」と聞き、妊娠後期から庄原赤十字病院の産婦人科にお世話になりました。今回4人目となる三女の出産をしました。今回4人目となる三女の出産のときには、通院や出産後の家族の面会などに、自宅から車で約1時間かかっていました。それが半分の時間で行けるようになり、ありがたかったです。今回の出産は、いい思い出になりました。

庄原赤十字病院

なかしまこういちろう中島浩一郎院長

5月10日の夕刻、13年ぶりとなる当院での分娩が、母子ともに健康なもので再開できたことをとても喜ばしく思っています。

この日を迎えるに当たり、広島大学はもとより広島県をはじめ各方面からこの備北地域における周産期医療体制整備に向けた力強い後押しをいただきました。昨年、常勤の産婦人科医師を派遣いただき、さらに本年度から助産師の派遣をいただいています。また、高松赤十字病院からも助産師を派遣いただいています。その他、分娩再開に向けた医療機器の整備などに対する庄原市の財政支援など、多くの皆さんからいただいたご支援とご協力で感謝申し上げます。ともに、厚くお礼申し上げます。

当面は、リスクの低い分娩などに限定した対応となりますが、今後とも「安心・安全な出産」を基本として、市民をはじめとした「庄原で出産をしたい」という声に応えられるよう、体制の充実を図っていきたいと思っています。そのためにも、現在の産婦人科医1人の体制をより充実していくことや、助産師の確保・育成に継続的に取り組まなければなりません。関係機関との連携を推進する中で努力していきますので、ご理解とご協力をお願いします。

お話を伺いました！



庄原赤十字病院ではこんな環境で出産できます

庄原赤十字病院では、助産師による母乳外来、育児相談、指導、必要に応じての面接、地域の保健師と連携しながら育児相談、指導も行っています。

ご希望の方は気軽にご相談ください。

問い合わせ

庄原赤十字病院

☎ 0824-72-3111 (代)



出産後はお祝い膳で体力回復



リニューアルした調乳室



リニューアルした病室